

●マンモグラフィ検査

所見名	説明
にゅうせんしゅりゅう 乳腺腫瘍	乳房内で、他の細胞とは異なる組織の塊が見られます。良性もしくは、悪性の場合がありますので、精密検査が必要となる場合もあります。
せっかいが 石灰化	マンモグラフィで白い粒のように映る影で、カルシウムが沈着したものです。
りょうせいせっかいが 良性石灰化	乳房の石灰化には、その形態から明らかに良性石灰化と診断できるものがあります。乳腺組織以外(皮膚や血管など)にも高頻度で見られます。
にゅうせんせっかいが 乳腺石灰化	石灰化の形態や分布により良悪性の鑑別を行います。良性の場合もありますが、悪性を疑う場合や鑑別が難しい場合は、精密検査が必要です。
ひたいしょうせいにゅうぼうそしき 非対称性乳房組織	反対側の乳房組織と比較すると、乳房組織の大きさが異なっていたり、濃度が高くなっていたりする状態です。大きさや濃度によっては、精密検査が必要となる場合があります。
きょくしよてきひたいしょうせいいんえい 局所的非対称性陰影	「腫瘍」と言えるほどの濃度や境界を持たない左右非対称性の陰影のことです。多くは正常乳腺の重なりですが、病変が隠れていることもあるので精密検査が必要です。
こうちくのみだれ 構築の乱れ	腫瘍が明らかではないが正常の乳腺構築がゆがんでいるものをいいます。良性の場合もありますが、精密検査が必要です。
りょうちゅう 梁柱の肥厚	梁柱(乳腺組織の周囲にあるリンパ管、血管、靭帯など)の肥厚で、種々の原因による乳腺の浮腫の場合に見られます。良性の場合もありますが、精密検査が必要です。
かんじょうえい 管状影	乳管が拡張あるいは肥厚した場合に見られます。悪性を疑われる所見に伴っている場合、精密検査が必要となる場合もあります。
ひふかんおう、 にゅうとうかんおう 皮膚陥凹、乳頭陥凹	皮膚や乳頭が内側に引っ張られたような状態が見られます。悪性を疑われる所見に伴っている場合、精密検査が必要となる場合もあります。
しゅだいえきかりんぼせつ 腫大腋窩リンパ節	腋の下にあるリンパ節で、乳腺だけでなく様々な疾患が原因で腫れることがあります。明らかに良性と判断される場合もありますが、精密検査が必要となる場合もあります。
にゅうぼうないりんぼせつ 乳房内リンパ節	乳房内部には多くのリンパ節があり、稀にマンモグラフィに写り「乳腺腫瘍」との鑑別が必要となりますが、形や場所、大きさや濃度変化などによって判断されます。